

放課後 すたいる

No.03
2016年9月

9月14日(水)
午後5時~6時30分頃 西児童館

「元卓球選手オカ君による、 オカ君のための卓球大会」

ももとは高知県で卓球の腕を磨いていたオカ君。
この日はそのオカ君が卓球台に君臨します。
彼を倒し、卓球台を取り戻してください！
(ハンデあり。勝つと景品がもらえます。)

担当：オカ君

9~10月始め
中高生タイム
イベントスケジュール！！

9月21日(水)
午後5時~6時30分頃 西児童館

「まっちゃんとたっちゃんの、 魔法のマジック教室」

友達作りのきっかけとして、
マジックをやってみませんか？
マジックが得意なたっちゃんとまっちゃんが
魔法のように楽しく優しくマジックを
教えてくれます。

担当：たっちゃん、まっちゃん

9月28日(水)
午後5時~6時30分頃 西児童館

「人生の旅人がっちゃんの、 にっぽん自転車操業」

どれくらい国立の外の風景を知っていますか。
日本を自転車で旅してきたがっちゃん。
今回はがっちゃんが旅で撮影した各地の風景を
日本地図にあてはめていきます。

旅に出たい人、集合！

担当：がっちゃん

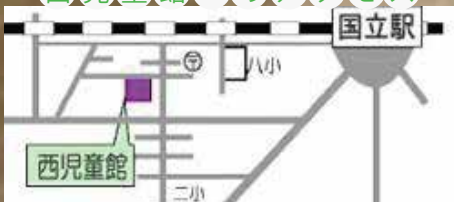
10月5日(水)
午後5時~6時30分頃 西児童館

「第1回HIMA人会議」

HIMA(暇)な人集まれ~それを謳歌している
人、持て余している人、大歓迎です!画期的な
暇つぶしの方法をみんなで考えましょう!

担当：カーブ

西児童館へのアクセス



—く—toちから世界へ— シンガポール派遣生へ突撃インタビュー！

国立市では、中学生・高校生を海外へ派遣し、世界への視野を広げる国立市青少年海外短期派遣事業を行っています！本事業は「国立市RHグローバル人材育成基金」活用事業で、将来のグローバル人材を育成することを目的としています。平成28年度の派遣先はシンガポール共和国。10名の派遣生が、多民族・多文化が共存している国で、現地青少年との街歩きや、2泊3日のショートホームステイ、現地で活躍する人材との交流等を行ってきました。その中の2名の方に、今回の体験を語ってもらいました。

富永早紀さん（高校2年生）

小松未子さん（中学1年生）

●今回の海外派遣事業に応募しようと思ったきっかけは？

富永：去年、学校でイギリス研修に行ったときに、将来留学をしたいと思いました。

今回シンガポールが派遣先ということで、英語を試したい気持ちがありました。

小松：これまで海外に行ったことはありませんでした。いつか行ってみたいと思っていたし、チャレンジしてみたいと思いました。

●シンガポールという国に抱いていたイメージは？

富永：ガーデンバイザベイや近代的な高層ビルのイメージかな。

小松：街がきれいで、他民族ということではいろんな人々がいるイメージ。

●実際に行ってみてどうだった？

小松：イメージどおりの多文化社会で、いろんな人が気軽に話しかけてくれるのに驚いた！！

富永：デロイトという企業に訪問した際に、多国籍の人たちが活き活きと働いている姿が印象的でした。また、知的障がい者のためのYishun Park Schoolという教育施設の訪問では、国を挙げての福祉や教育の水準の高さに驚きました！

●今回は、ホームステイがプログラムの一つにありました。実際にホームステイをしてみた感想は？ また、文化や風習、暮らしのことなどで印象的だったことはありますか？

富永：住宅のドアが二重でした！！あと、日々の食事は外食中心みたいで、だいたい家で食事を作る日本とは違うなあと感じました。

あと、ホームステイ先は集合住宅だったのですが、建物にプールやスポーツセンターが隣接していたんです。国の健康増進の方針で、身近にスポーツに親しむことを奨励しているみたいです。

小松：ホストファミリーがみんな優しくて、一生懸命、日本語を学ぼうとしてくれたのがうれしかった。シンガポールは夜が長い！

夜、小さい子どもも含めて家族で遊びに行き、朝はゆったり過ごすというライフスタイルということでした。

滞在中、街でウォーターフェスティバルというイベントをやっていたのですが、家族みんなで連れて行ってくれたのがいい思い出になりました。

●ホストファミリーをはじめ、現地の人とのコミュニケーションはどうでしたか？

富永：これまでがんばって勉強してきた英語がなかなか伝わらなかった！でも、お互いに通じ合おうとする気持ちでコミュニケーションをとって、ボディランゲージを使ってがんばりました。

小松：英語はまだあまりできないから、ジェスチャーで乗り切りました！あと、私は普段、阿波踊りの活動をしているので、現地の方に披露して、日本の文化を知ってもらおうのを目標にしていたんです。ホストファミリーやパーティで披露したらとても好評で、みんな一緒に踊ってくれたのがうれしかった。

●今回、中高生10人でシンガポールを訪問したわけですが、このメンバーでの渡航はいかがでしたか？

富永：すごく仲良くなって、いい経験ができました。英語をサポートし合いながら、みんなで多くを共有した時間でした。メンバーが動画を撮って編集してくれて、いい記録映像ができたのがいいお土産になりました。

小松：阿波踊りをメンバーみんなが練習してくれて、フェアウェルパーティで披露する経験ができて、団結がより深まった気がします。

●今後のお二人の目標は？

富永：留学への夢がますます膨らみました！細やかな表現をうまく伝えられるように、これからもっと英語力を上げたいと思っています。

小松：これから英語やフランス語などの外国語を勉強して、もっともっと海外に行ってみよう。あと、阿波踊りをもっと上手になって、日本と海外の架け橋になりたいです。

●ありがとうございました！ これからもがんばってください。



みんなで阿波踊り（小松さん：手前中央）



ホストファミリーと（富永さん：右から2番目）

「く—toちから★中高生CMプロジェクト」上映会のご案内



この夏、市内の中高生が、市民の方々のご協力を得て、国立のまちを舞台に映像制作に取り組みました。大学通りや一橋大学に象徴される国立のイメージをかたちにした作品や、谷保や矢川地域の自然を映した作品、まちに関する素朴な疑問から取材を試みた作品、国立の歴史に焦点を合わせた作品など、まちの「CM＝コミュニティ・メッセージ」という意味をこめて全7作品を制作しました。これらの作品の上映会を開催します。この上映会は誰でも参加できるので、ぜひ見に来てくださいね。

日時：9月11日（日）13時～14時頃

場所：公民館1階 ロビー



編集後記

こんにちは！一橋大学の国立あかるくらぶから来ました「はらちゃん」です。私が所属する国立あかるくらぶは普段、国立市をもっと明るい街にするためいろんなことをがんばっています。私もこの4月から一員として活動しています。国立に住んでまだ4ヶ月だけこの落ち着いた雰囲気大好きです。みなさん、夏休みは満喫できましたか？夏休みは長そうであつという間に終わってしまいますね。といっても私たち大学生はまだ夏休み中です。実は大学の授業は10月から始まります。なので国立の行ったことがない場所にもっと行ってみたいと思います！国立あかるくらぶは中高生タイムに参加しているので、ぜひその時におすすめスポットを教えてください。

発行

国立市子ども家庭部児童青少年課
児童館

編集

国立市子ども家庭部児童青少年課
児童館
はらちゃん（一橋大学サークルあかるクラブ）

連絡先

○中高生タイムについて
西児童館 ☎042-575-3060

○その他事業・イベントについて
国立市役所児童青少年課児童・青少年係
sec_kodomo@city.kunitachi.tokyo.jp
☎042-576-2111（内線324、198）